

特集

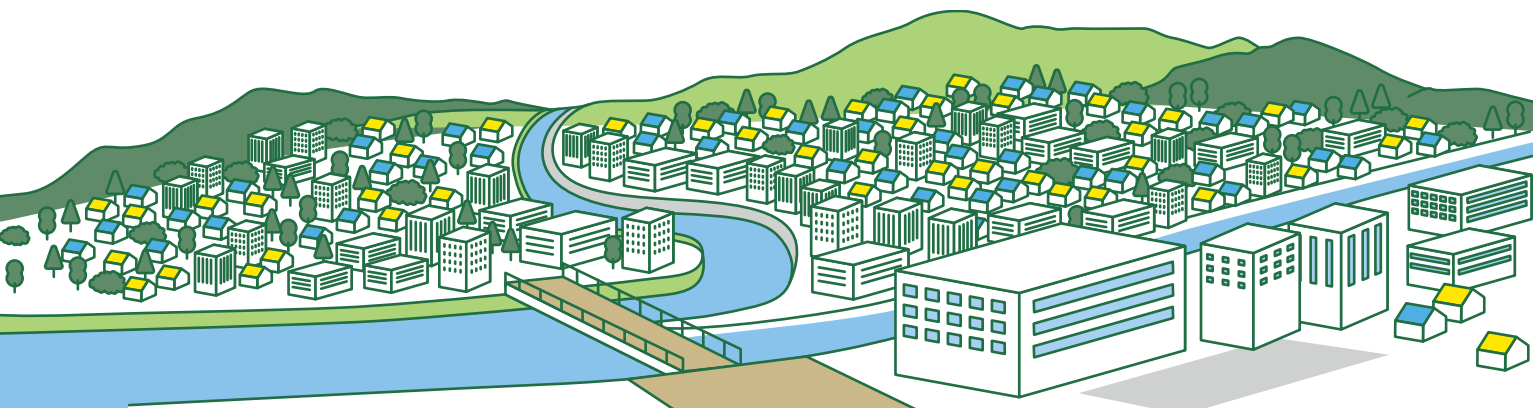
水害から暮らしを守ろう

～「内水氾濫」どう備える?～

近年、全国各地で豪雨による水害が頻発し、私たちの生活を脅かしています。大東市も例外ではなく、梅雨の時期や台風シーズンを迎えるにあたり、今すぐに取り組むべき大切な問題です。

今回は、大東市における内水氾濫のリスクと、今からできる対策について紹介します。

大切な暮らしを守るために、水害への意識を高めましょう！



水害にも種類がある!? 知っておきたい2つのリスク

雨が排水しきれない

内水氾濫

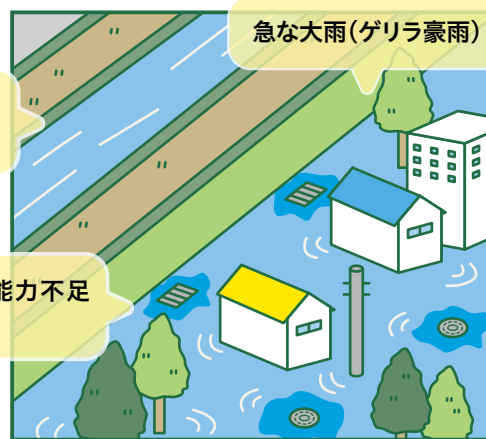
住宅地や道路などに降った雨が、下水道や排水路ではけきれず、まちの中にあふれるのが「内水氾濫」です。川があふれる前に、まちの中で浸水が起こるのが特徴です。

大東市は内水氾濫の
リスクが大きいよ！



川の水位が高く排水
できない状態

排水ポンプの能力不足
や故障



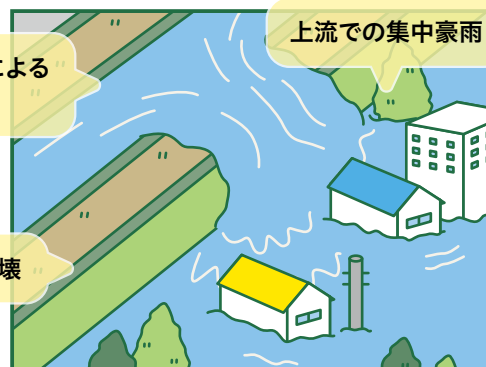
川からあふれる

外水氾濫

大雨などで川の水が増え、堤防を越えたり堤防が壊れたりして、川の外に水があふれるのが「外水氾濫」です。川の近くに住んでいる人は特に注意が必要です。

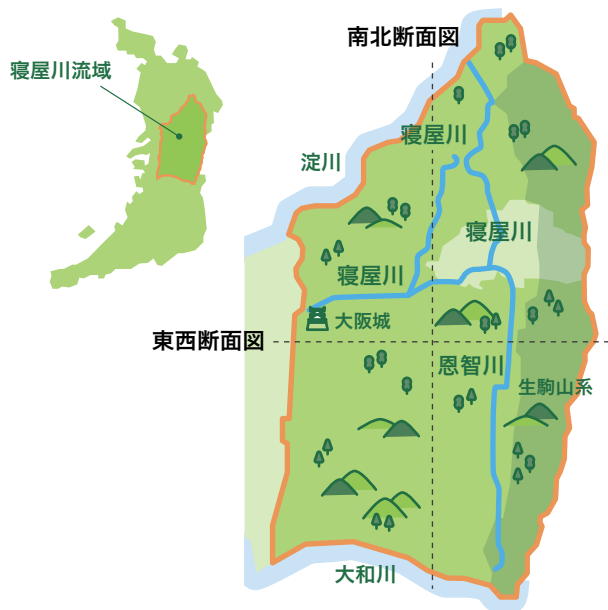
長時間の大雨や台風による
河川の増水

老朽化した堤防の決壊





地形から読み解く 内水氾濫の危険性



大東市は、大阪府東部に位置し、寝屋川流域の中流域にあたる場所にあります。

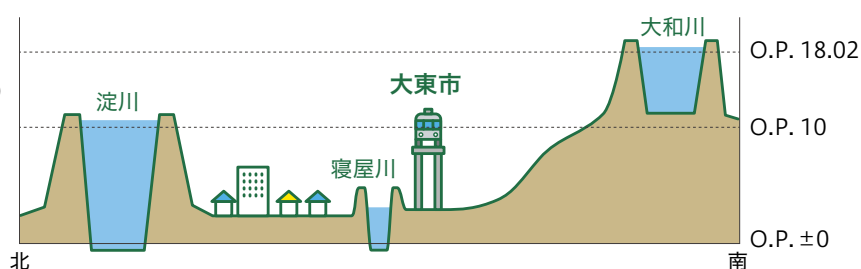
大東市の地形は、東部にある生駒山地から西側へ向けて、ゆるやかに低くなる形をしています。そして、南北には淀川や大和川が大東市よりも高い場所に位置しています。このため、同じ市内でも地域によって標高に差があり、低地では、大雨の際に高地からの雨水が流れ込みやすい構造になっています。

また、寝屋川の支流や水路も多く、局地的な大雨の際には、川があふれなくても水がたまってしまう**内水氾濫**が発生することもあります。

大東市は低地に位置しているから
水が流れ込みやすいよ！



南北断面図
イメージ
(中央環状線沿)

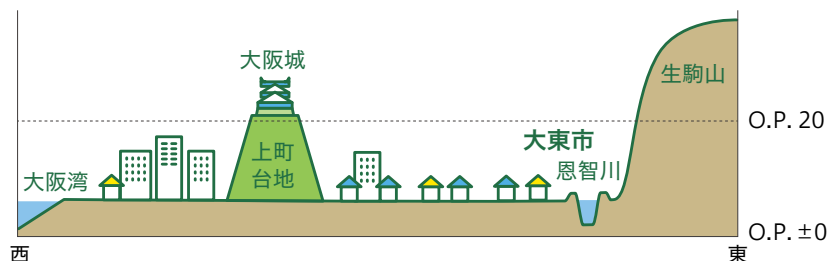


寝屋川流域
について
詳細はこちら



府ホームページ

東西断面図
イメージ
(国道308号沿)



Point

O.P.(Osaka Peil)は「大阪湾最低潮位」のことで、この基準から土地がどのくらいの高さにあるか示しています。

特に注意！

大雨の際に危険な場所

日頃の通勤・通学路や、よく利用する場所の周辺に、次のような場所がないか確認してみましょう。

河川の周辺

増水や氾濫の危険があります。増水時には川の流れが速くなり、橋が壊れたり流されたりする危険もあります。



地下階・地下駐車場

地下にいと地上の様子がわからず、判断が遅れがちになります。また、地上が浸水すると、一気に水が流れ込んできて脱出が困難に。

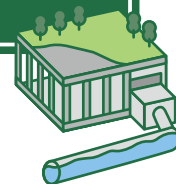


アンダーパス

線路や道路の下をくぐる「くぼんだ道路」のことで、大雨の際には雨水がたまりやすく、短時間で冠水する恐れがあります。



まちを守る！ しくみづくりの最前線



市では、大雨などによる内水氾濫の発生に備え、設備の充実や、ハザードマップの作成、避難訓練の実施など、さまざまな方法でまちを守る取り組みをおこなっています。

河川や下水道の増水を防ぐしくみ

〔 校庭貯留 〕

小・中学校の校庭を、一時的に雨水をためる「貯留池」として活用することで、雨水が一気に川へ流れ込むのを抑え、住宅街への浸水リスクを減らします。



▲南郷小学校の校庭貯留

〔 ポンプ場 〕

低地では大雨の際に川への自然排水が難しくなることがあります。そのため、ポンプで強制的に雨水を排出し、内水氾濫を防いでいます。



▲銭屋川ポンプ場

〔 流域調節池 〕

大雨のときに水路や下水道に流しきれない雨水を一時貯留することにより、周辺地域の浸水被害を軽減しています。



▲南郷公園の地下調節池

大東市には校庭貯留は小・中学校合わせて12か所、ポンプ場は30か所、流域調節池は4か所もあるんだよ！



大規模な防災演習を実施

5月の水防月間には、淀川の河川敷で淀川水防・大阪府地域防災総合演習を開催しています。国土交通省、大阪府、大阪市他8市をはじめ、約50の機関及び団体が参加する大規模な防災訓練で、実際の災害時を想定した訓練が行われています。



参加職員の声 『連携の重要性を実感』

土のうを作って積み上げる訓練を行い、普段の机上訓練では体験できない実践的な学びが多くありました。一つの自治体だけでは対応しきれない規模の災害も想定される中で、訓練を通じて顔の見える関係づくりができたことは、大きな収穫でした。



内水ハザードマップ

大東市総合防災マップに内水ハザードマップを追加します。洪水だけでなく、内水氾濫のリスクを知ることで、一層の防災への取り組みを進めましょう。

改訂した総合防災マップは
今年中に全戸配布予定



知っていますか？

「みんなの防災看板」

最近、市内で黄色い看板を見かけませんか？多くの企業が電柱広告を活用して、防災看板の設置を行っています。日頃からの防災・減災への備えなどに関する情報が掲載されており、道行く人への啓発と地域貢献に寄与しています。また、避難所の案内も表記されているので、見つけた際はぜひ注目してみてください。

詳しくは
こちらから





今日からできる 一人ひとりの備え

水害から身を守るために、身近なところから、日々の備えを見直してみましょう。



雨が降る前に

□ハザードマップの確認

- ・自宅や職場周辺のハザードマップを確認し、リスクを把握しておく。

□住宅の排水設備の点検

- ・側溝や排水口、雨どいにゴミや落ち葉が詰まっているか確認し、定期的に清掃する。敷地内の雨水の流れを確認しておく。

□止水板や土のうの準備

- ・ホームセンターなどで購入できる土のうや水のうを備蓄するほか、自分で設置可能な止水板を玄関などに準備しておく。

□家具・家電の配置

- ・貴重品や家電などは床から高い場所に保管・設置して水につからないようにする。

□車の移動

- ・地下駐車場から地上へ移動させる。

□非常用品の備蓄

- ・万が一の避難に備え、非常持出リュックに必要な品をまとめておく。



大雨のとき

□気象情報や防災情報のチェック

- ・防災アプリ、市公式LINE、テレビ、ラジオで最新情報を確認。

□止水対策を行う

- ・玄関や通風口に止水板や土のうを設置。
ビニール袋に水を入れた即席の水のうでも一時的な対処ができます。

大東市の防災アプリをインストールしておくで安心だね！
ホームページからダウンロードできるよ。



非常持ち出し品の準備

救急用品	☐ 絆創膏(ばんそうこう)	貴重品	☐ 現金(硬貨もあると便利)	その他	☐ ライター・マッチ
	☐ 包帯		☐ 通帳のコピー		☐ ティッシュ・ウェットティッシュ
	☐ きずぐすり、鎮痛剤、胃腸薬		☐ 健康保険証のコピー		☐ カイロ
	☐ 常備薬		☐ 免許証・身分証明書		☐ 食品用ラップ
	☐ お薬手帳のコピー	衣類・防寒着	☐ 下着・靴下		☐ ヘルメット
非常食品など	☐ 飲料水		☐ 上着		☐ 軍手
	☐ アルファ化米・乾パン		☐ レインコート		☐ マスク
	☐ 缶詰など (火を通さないと食べられるもの)		☐ タオル		☐ 体温計
	☐ 紙コップ、紙皿	その他	☐ ラジオ		☐ 除菌アルコールシート
	☐ ナイフ		☐ 懐中電灯・ランタン		☐ 手指消毒液
	☐ 缶切り		☐ 乾電池		
			☐ モバイルバッテリー		
			☐ 携帯電話充電ケーブル		



「内水氾濫」は、どこでも起こりうる身近な災害です。
日頃からの備えが、いざという時の被害を小さくします。
家庭や地域で、ぜひ話し合ってみてください。



問合せ 危機管理室 ☎889・1511